

日本における宿根草花壇の 可能性についてⅢ

日本のガーデンで用いられている宿根草の調査

西村 悟郎(文化学科)

昨年度「園芸文化2号」で英国ウィズレーガーデンのミックスボーダーおよびカントリーガーデンで用いられている宿根草の種類について報告したが、今回は日本国内にある3つのガーデンで植栽されている宿根草を調査した。そして、日本のガーデンにおける植物の種類と、昨年調査したウィズレーガーデンにおける種類を比較することにより、日本における宿根草の可能性を検討した。

1. 調査したガーデンの紹介

2005年8月18~20日に以下の3つのガーデンを訪ね、用いられている宿根草の種類を記録した。

1) バラクラ・イングリッシュガーデン

長野県茅野市に1990年に日本では最初のイングリッシュガーデンとして開園した。1haの広さに、ボーダーガーデン、ハーブガーデン、ローズガーデン、パーゴラ・ゾーン、スクリーガーデン、ブルーガー、睡蓮の池などが設置されている。今回133種および品種の宿根草が観察された。

2) メアリーローズガーデン

長野県佐久市に1999年に開園した。2haの広さに、ボーダーガーデン、ハーブガーデン、ハーブガーデン、コニファーガーデン、ホワイトガーデンなどが設置されている。今回94種および品種の宿根草が観察された。

3) アンディー&ウィリアムスボタニカルガーデン

群馬県新田町に2002年に開園した。2haの広さに、ボーダーガーデン、ハーブガーデン、ノットガーデン、キッチンガーデン、ウッドランド、メイズ、ダブコートガーデンなどが設置されている。今回79種および品種の宿根草が観察された。

2. 用いられている宿根草の種類

上記の3つのガーデンでそれぞれ用いられている宿根草を観察した結果、3箇所全てで用いられているもの、2箇所で用いられているもの、1箇所で用いられているものに分けられた。以下、それぞれについて紹介する。

1) 3箇所のガーデンで観察された宿根草

Anemone x hybrida (バラザキシユウメイギク)、*Aster sp.* (クジャクアスター)、*Astilbe cv.* (アスチルベ)、*Centranthus ruber* (ベニカノコソウ)、*Eryngium planum* (マツカサアザミ)、*Eupatrium fortunei* (フジバカマ)、*Euphorbia cv.*、*Foeniculum vulgare* (ウイキョウ)、*Geranium cv.*、*Heleborus orientalis* (レンテンローズ)、*Hosta sieboldiana* (トウギボウシ)、*Kniphofia cv.* (トリトマ)、*Nepeta x faassenii* (キャッツミント)、*Perovskia 'Blue Spire'*、*Phlox paniculata* (クサキョウチクトウ)、*Physostegia virginiana* (カクトラノオ)、*Stachys byzantina* (ラムズイアー)、*Thymus vulgaris* (コモンタイム)、*Verbena bonariensis* (サンジャクバーベナ)、*Veronica longifolia*

以上の宿根草は下記の3つのグループに分けることができる。まず、*Anemone*、*Aster*、*Astilbe*、*Eupatrium*、*Hosta*のように日本・中国原産のもので日本の夏に適合しているもの、次に、*Centranthus*、*Eryngium*、*Foeniculum*、*Heleborus*、*Nepeta*、*Phlox*、*Physostegia*、*Thymus*、*Verbena*、*Veronica*のように日本原産ではないが、日本の夏の気候に適合しているもの、3番目としては、*Euphorbia*、*Geranium*、*Perovskia*、*Stachys*のように夏の暑さに弱いながらも、その中でも比較的暑さに強い種類が夏に残って

いるもの、以上のように分けられる。

この3つのグループ分けは、いかに日本の夏に宿根草を用いるかという問題に、大きな示唆を与えている。つまり、まず日本原産の植物をしっかり確保すること。次にすでに広く栽培されている夏の暑さに強い外来の植物を用いる。さらにイギリスなどの夏の冷涼な地域で用いられている植物の中から、日本の夏の気候に耐える種類を選抜していくことである。

なお、3つのガーデンの標高はバラクラ・イングリッシュ・ガーデンが1000m、メアリー・ローズガーデンは880m、アンディー・ウィリアムスガーデンは45mで、特にバラクラ、およびメアリーローズは高原地帯に位置する。この2つのガーデンと、低地のアンディー・ウィリアムスガーデンとの間でどの程度植物の生育に差があるか詳しく調べる必要があるが、今回は、詳しい考察ができるところまでは資料が得られなかったので、3つのガーデンの植物を一括して扱った。

2) 2箇所のガーデンで観察された宿根草

2箇所のガーデンで観察された宿根草を上述べた3つのグループ分けによって紹介する。

(1) 日本・中国原産の植物

Hakkonechloa macra (フウチソウ)、*Houttuynia cordata* 'Chameleon' (斑入りドクダミ)、*Lespedeza bicolor* var. *japonica* (ハギ)、*Liriope muscari* cv. (斑入りヤブラン)、*Paeonia* cv. (シャクヤク)、*Paeonia suffruticosa* cv. (ボタン)、*Patrinia scabiosifolia* (オミナエシ)、*Platycodon grandiflora* (キキョウ)。この中でシャクヤクとボタンは8月のガーデンで緑の葉が茂っていた。

(2) 外来の植物で日本の夏の気候に合っているもの。

Acanthus mollis (ハアザミ)、*Achillea* 'The Pearl'、*Agapanthus* cv.、*Coreopsis verticillata* (イトバハルシャギク)、*Crocasmia* 'Lucifer'、*Echinacea purpurea* (ムラサキバレンギク)、*Festuca glauca*、*Fragaria vesca* (野生のイチゴ)、*Gaura lindheimery* (ハクチョウソウ)、*Helenium autumnale* (ダンゴギク)、*Hemerocallis* cv.、*Heuchera* 'Place Purple'、

Hibiscus moscheuto (アメリカフヨウ)、*Lavatera* cv.、*Leucanthemum x superbum* (シヤスターデージー)、*Linum perenne* (シュツコンアマ)、*Lychnis coranaria* (スイセンノウ)、*Lysimachia punctata*、*Lythrum anceps* (ミソハギ)、*Malva* cv.、*Mentha spicata* (スペアミント)、*Rudbeckia hirta*、*Salvia officinalis* (ヤクヨウサルビア)、*Santorina chamaecyparissus*、*Saponalia officinalis* (ソープワート)、*Sedum spectabilis* (オオベンケイソウ)、*Synphytum officinale* (コーンフリー)、*Tanacetum vulgare* (タンジー)、*Verbascum thapsus* (ビロードモーズイカ)、*Vinca major* (ツルニチニチソウ)。ここにあげられている種類は、バラクラやメアリーローズのような標高の高い所でなくても、アンディー・ウィリアムスのような標高の低い場所でも、夏の期間に元気に育つ宿根草である。

- (3) 夏の暑さに比較的弱いもので、標高の高いバラクラ、メアリーローズで8月によく育っていたもの。

Ajuga reptans、*Alchemilla moris*、*Cerastium tomentosum* (シロミミナグサ)、*Dianthus* cv.、*Digitalis purpurea*、*Lavandula angustifolia*、*Lupinus* sp.。これらの中で、*Digitalis* と *Lupinus* は低地では2年草扱いされるが、標高のこの高い場所では宿根草化する。

3) 一箇所のガーデンで観察された宿根草

一箇所のだけのガーデンで栽培されている宿根草の中にも重要なものが含まれている。上と同じように3つのグループに分けて紹介する。

- (1) 日本・中国原産の植物

Aconitum cv. (トリカブト)、*Aquilegia flabellata* (オダマキ)、*Arisaema thunbergii* var. *urashima* (ウラシマソウ)、*Aster tataricus* (シオン)、*Belamcanda chinensis* (ヒオウギ)、*Bletilla striata* (シラン)、*Calanthe discolor* (エビネ)、*Chrysanthemum nipponicum* (ハマギク)、*Epimedium grandiflorum* (イカリソウ)、*Impatiens grandulifera* (ツリフネソウ)、*Pachysandra terminalis* (フッキソウ)、*Petasites japonicum* (フキ)

(2) 外来の植物で日本の夏の気候に合っているもの。

Agastache cv.、*Allium shoenoprasum* (チャイブ)、*Allium giantium*、*Allium karataviensis*、*Allium schubertii*、*Alstromeria* cv.、*Anchusa officinalis*、*Anthemis tinctoria*、*Arabis caucasica*、*Arenaria montana*、*Artemisia absinthium* (ニガヨモギ)、*Artemisia schmidtiana* (アサギリソウ)、*Asparagus* cv.、*Aster* 'Blue Lagoon'、*Bergenia* cv. (ヒマラヤユキノシタ)、*Brugmansia* cv. (ダチュラ)、*Brunnera macrophylla*、*Calamintha nepeta* (カラミンサ)、*Ceratostigma plumbaginoides* (ルリマツリモドキ)、*Chelone lyonii* (スピードリオン)、*Clematis armandii*、*Convallaria majalis* (ドイツスズラン)、*Crococsmia x crocosmiiflora* (モントブレチア)、*Echinops ritro* (ルリタマアザミ)、*Epilobium* (ヤナギラン)、*Eucomis autumnalis* (パイナップルリリー)、*Gaillardia aristata* (オオテンニンギク)、*Gazania* cv.、*Geranium sanguineum* (アケボノフウロ)、*Geum* cv.、*Gunnera manicata*、*Hebe* cv.、*Hedychium coronarium* (シュクシャ)、*Helichrysum serotinum* (カレープランツ)、*Heliopsis* 'Asahi'、*Hyssops officinalis* var. *alba* (ホワイトヒソップ)、*Iris germanica* (ジャーマンアイリス)、*Lamium maculatum*、*Lampranthus spectabilis* (マツバギク)、*Lavandula stoechas* (フレンチラベンダー)、*Liatris spicata* (キリンギク)、*Lobelia cardinalis* (ベニバナサワギキョウ)、*Ligularia* cv.、*Lychnis viscaria* (ムシトリビランジ)、*Lysimachia numularia* 'Aurea'、*Mentha x piperita* (ペパーミント)、*Monarda didyma*、*Nicotiana sylvestris*、*Nymphar Hardy Group* (耐寒性スイレン)、*Oenothera fruticosa*、*Penstemon* cv.、*Phlomis fruticosa*、*Phlox subulata* (ハナツメクサ)、*Physalis alkekengi* (ヨウシュホウズキ)、*Rodgersia pinnata*、*Salvia guaranitica*、*Salvia pratensis* (メドーセージ)、*Salvia sclarea* var. *turkestanica* (オニサルビア)、*Senecio sineraria* (シロタエギク)、*Sidalcea malviflora*、*Stokesia laevis*、*Verbena rigida*、*Verbena tenera*。以上は、標高の高いガーデンのみならず低地でも夏に育つ宿根草である。

(3) 低地の夏の暑さでは植物が弱るが、夏の涼しい場所では宿根草として夏越しする。

Alcea rosea (タチアオイ)、*Alyssum saxatile* (イワナズナ)、*Campanula persicifolia* (モモバギキョウ)、*Crambe cordifolia*、*Gypsophila paniculatâ* (シュツコンカスミソウ)、*Helianthemum nummularium* (ロックローズ)、*Papaver orientale* (オニゲシ)

これらの植物は低地では2年草扱いとして栽培することが勧められる。

3. イギリスのウィズレーガーデンに用いられている植物との比較

昨年調査した、ウィズレーガーデンのミックスボーダーおよびカントリーガーデンに植栽されていた宿根草の属で、種や品種を多く含むものとしては、含まれる種類の多い順に *Geranium*、*Clematis*、*Phlox*、*Aster*、*Euphorbia*、*Salvia*、*Allium*、*Sedum*、*Kniphofia*、*Agapanthus*、*Anemone*、*Hosta*、*Hemerocallis*、*Miscanthus*、*Persicaria*、*Iris*、*Lysimachia*、*Papaver*、*Achillea*、*Agastache*、*Artemisia*、*Astrantia*、*Eupatrium*、*Helenium*、*Rudbeckia*、*Verbena*、*Veronicastrum*、*Astrantia*、*Campanula*、*Lavandula*、*Nepeta*、*Delphinium*、*Echinacea*、*Knautia*、*Origanum*、*Penstemon*、*Thalictrum*、*Aconitum*、*Ajuga*、*Anthemis*、*Argyranthemum*、*Catananche*、*Eupatrium*、*Perovskia*、*Pulmonaria*、*Alstromeria*、*Baptisia*、*Choisya*、*Cimicifuga*、*Coreopsis*、*Epilobium*、*Epimedium*、*Crambe*、*Eryngium*、*Galega*、*Gaura*、*Inula*、*Nemesia*、*Lychnis*、*Molinia*、*Nepeta*、*Physostegia*、*Potentilla*、*Sanguisorba*、*Stipa*、*Strobilanthus*、*Veronica* などである。これらの属で今回訪問した3つのガーデンで見ることの出来なかった宿根草の属は、*Catananche* (ルリニガナ属)、*Cimicifuga* (サラシナショウマ属)、*Delphinium*、*Galega*、*Inula* (オグルマ属)、*Knautia*、*Molinia* (ヌマガヤ属)、*Nemesia*、*Origanum* (ハナハッカ属)、*Sanguisorba* (ワレモコウ属)、*Stipa* (ハナガヤ属)、*Thalictrum* (カラマツソウ属)、*Veronicastrum* (クガイソウ属) である。これらもたまたま著者が訪問した時に栽培されていなかったことも考えられる。このことから、ウィズレーで栽培されている主な属は日本で

栽培されているということが言える。言いかえれば、イギリスの夏のガーデンを飾る宿根草の主なものは、そのほとんどが日本でも栽培されているということである。今回は、バラクライングリッシュガーデンとローズメアリーガーデンという標高の高い場所にあるガーデン植物が含まれているが、今後の課題として、これらの高地とアンディー・ウィリアムスガーデンのような低地とで、宿根草の生育のどのような異なるのか検証する必要がある。

引用文献

Nishimura, G. 2001 *Plant materials and their disposition in the mixed borders and the summer garden at the Royal Horticultural Society's Garden at Wisley*. Bull. Dep. Hort. Keisen College

西村悟郎. 2005. 日本における宿根草花壇の可能性についてII. 英国王立園芸協会ウィズレーガーデンで用いられている宿根草の調査. 園芸文化. 2: 147-149.